

2013年度 決算説明会



2013年度 経営統合のシナジー及び戦略投資の効果

取り組み内容	効果
【経営統合のシナジー】	
融資事業の利便性向上	・世帯収入や、資産情報による与信判断により、キャッシングの利便性が向上 国内キャッシング残高 期首比+936億円
低利で安定した資金調達	・イオンカード [®] セレクトを活用した預金の調達 国内有利子負債残高 期首比▲2,370億円
【戦略投資の効果】	
営業ネットワークの拡大	・ATM 期首比+2,252台の4,932台 ・インスタブランチ 期首比+19店舗の124店舗 融資代行手数料 ▲5億円
経営統合キャンペーン	・イオンカード [®] セレクト会員限定の2%定期預金金利キャンペーンを実施 イオンカード [®] セレクト会員数 期首比+56万人

2013年度 連結業績

- 経営統合キャンペーンや増税前の駆け込み需要を取り込み、取扱高は順調に拡大
- 海外事業では、タイ、マレーシア現地法人が過去最高益を達成

連結業績		
	実績	前期比
経常収益	2,860億円	139%
経常費用	2,449億円	142%
経常利益	410億円	123%
当期純利益	207億円	152%

	第2四半期末	期末	年間
配当金	25円	35円	60円

2013年度 連結業績の四半期推移

	1Q	2Q	3Q	4Q
	実績	実績	実績	実績
貸出金 (流動化含む)	1兆1,514億円 (1兆3,162億円)	1兆2,443億円 (1兆4,088億円)	1兆3,026億円 (1兆4,639億円)	1兆2,767億円 (1兆5,313億円)
貸出金利回り	8.4%	8.7%	9.1%	9.2%
資金調達コスト	1.0%	1.0%	0.8%	0.8%
貸出金利鞘	7.4%	7.7%	8.3%	8.4%

経常収益	648億円	656億円	751億円	803億円
経常利益	92億円	31億円	120億円	166億円

※利回りは期首残高と期末残高の平均残高より算出

連結セグメント業績

	クレジット	フィー	銀行	海外	調整額	連結合計
経常収益	1,311億円	366億円	412億円	915億円	△144億円	2,860億円
前期比	117%	136%	432%	148%	—	139%
経常費用	1,030億円	354億円	393億円	750億円	△80億円	2,449億円
前期比	113%	141%	476%	121%	—	142%
貸倒関連費用	93億円	3億円	3億円	214億円	—	314億円
前期比	116%	52%	33%	154%	—	134%
経常利益	280億円	11億円	18億円	164億円	△64億円	410億円
前期比	136%	65%	148%	122%	—	124%
貸出金残高	3,331億円	120億円	7,570億円	2,129億円	—	1兆2,767億円
貸出金利回り	13.8%	3.7%	1.7%	26.2%	—	8.7%
資金調達コスト	0.7%	1.0%	0.3%	4.0%	—	0.9%
貸出金利鞘	13.1%	2.7%	1.4%	22.2%	—	7.8%

Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 5

営業力の強化と生産性の向上

■ 改善項目の課題を解決し、営業力の強化及び生産性の向上を図る

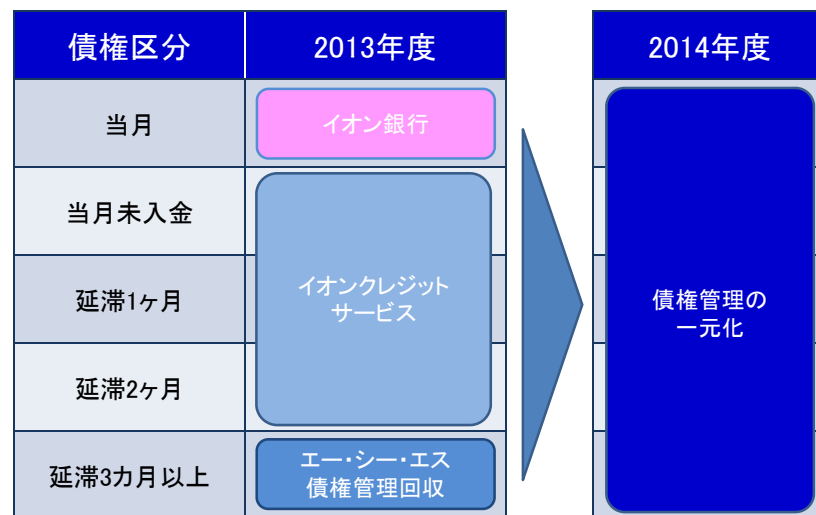
改善すべき項目	課題	2014年度重点実施事項
支店・営業所	・営業拠点が各社個別	▶ 営業拠点の統合
インスタブランチ	・店舗、運営会社ごとに指示系統が存在	▶ 指示系統の統一
債権管理	・債権管理を各社ごとに実施	▶ オペレーションの一元化
販促企画	・商品及び企画ごとで各社が実施	▶ 企画の統一実施、クロスセル展開強化
取引先	・各社が個別で取引	▶ 取引先の共有化及び金融サービスの一括提供

Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 6

債権管理体制の整備

■ 債権管理体制を一元化し、効率化を図ることで回収力を強化



Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 7

連結貸借対照表

連結	実績	期首比	連結	実績	期首比
現金預け金	4,166億円	△1,007億円	預金	1兆7,177億円	+5,057億円
貸出金	1兆2,767億円	+1,487億円	有利子負債	6,371億円	△1,618億円
内、国内貸出金	1兆638億円	+1,138億円	内、国内有利子負債	3,297億円	△2,370億円
キャッシング	3,227億円	+936億円	内、海外有利子負債	3,074億円	+751億円
内、海外貸出金	2,129億円	+348億円	利息返還損失引当金	30億円	△6億円
割賦売掛金	9,574億円	+4,500億円	買掛金等	3,194億円	+657億円
支払承諾見返	1,764億円	+1,758億円	支払承諾	1,764億円	+1,758億円
貸倒引当金	△475億円	△66億円	負債合計	2兆8,558億円	+5,799億円
有価証券等	3,834億円	△388億円	純資産合計	3,072億円	+484億円
資産合計	3兆1,631億円	+6,283億円	負債及び純資産合計	3兆1,631億円	+6,283億円

Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 8

2014年度 連結業績予想

	業績予想	
	業績	前期比
経常収益	3,200億円	112%
経常利益	510億円	124%
当期純利益	265億円	128%
1株当たり 当期純利益	128円37銭	123%

	第2四半期末	期末	年間
配当予想	25円	35円	60円

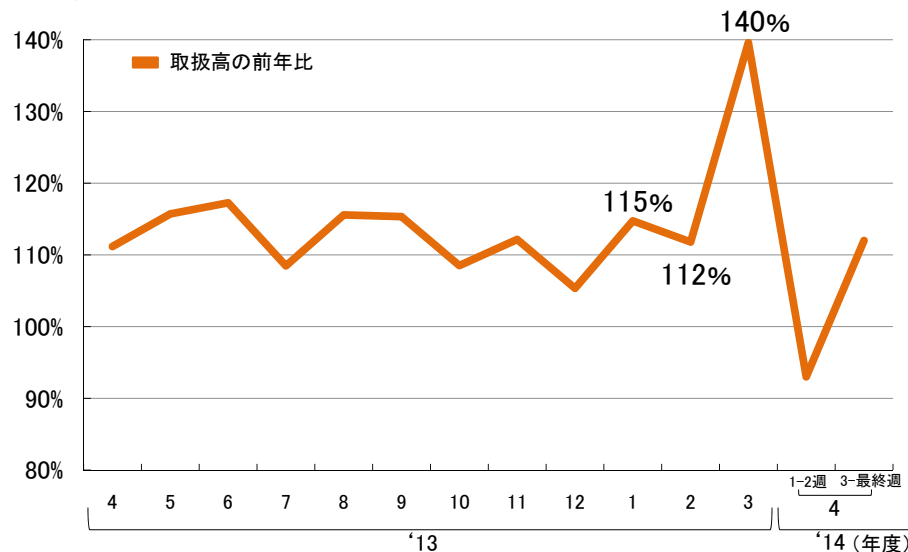
2014年度 重点実施事項

プロセッシング・カード事業担当 副社長
水野 雅夫



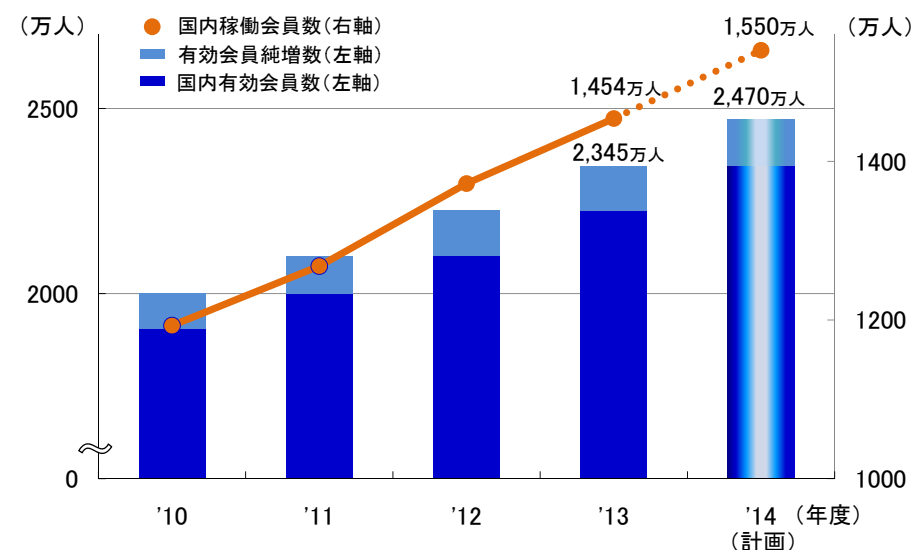
2013年度 カードショッピング取扱高前年同月比の推移(国内)

- 3月度は、駆け込み需要を取り込み前年同月比140%と大幅に拡大
- 4月度は、一時的に反動減があったものの、前年同月比104%を確保



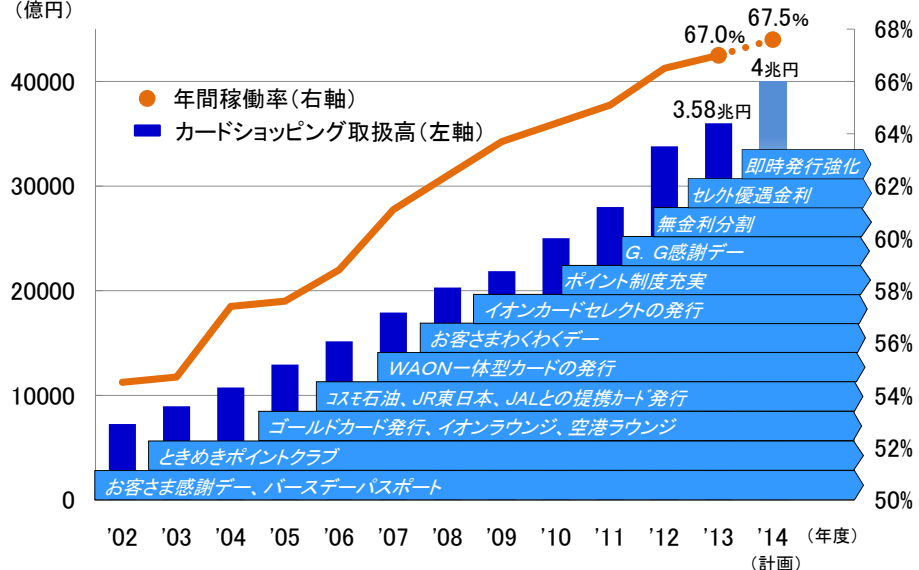
有効会員数及び稼働会員数の拡大(国内)

- 国内の有効会員数は2,470万人(125万人増)、稼働会員数は1,550万人(96万人増)を計画



年間稼働率向上の取り組み(国内)

■ タブレット端末を活用した即時発行の強化により、年間稼働率は67.5% (前年比0.5%増)を計画 (億円)



カードキャッシング利用者の増加

■ カード会員の拡大、世帯収入による与信の開始により、キャッシング新規利用者は増加

	残高保有者数	1人当たり残高
残高保有者数 (2013年3月期)	98万人	19万円
継続保有者	74万人	28万円
完済者	△23万人	-
新規残高保有者	33万人	21万円
残高保有者数 (2014年3月期)	107万人	26万円

※表示は10日締めの数値

メインカード化による取扱高拡大の取り組み

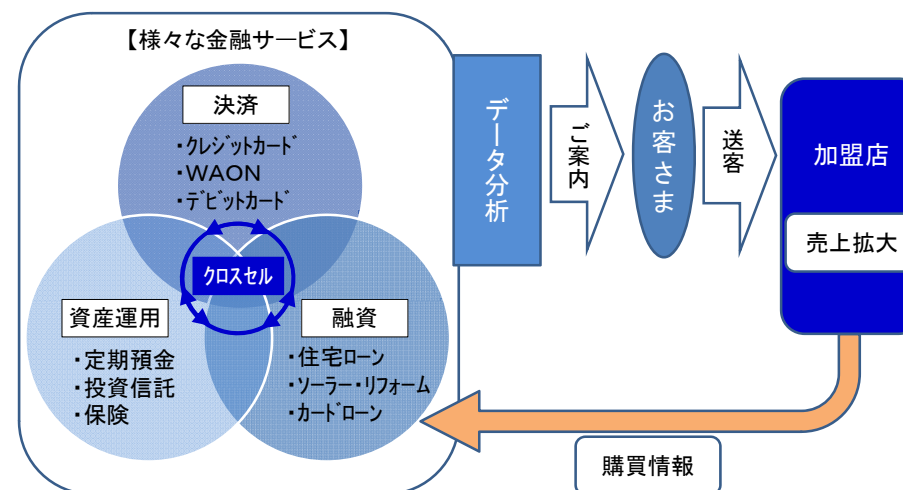
■ イオン銀行の金融商品利用により、メインカード化が進み取扱高が拡大

【イオンカードセレクト会員の金融商品購入後の利用状況】

	金融商品購入前	金融商品購入後		
		定期預金	投資信託	住宅ローン
月間カード利用額	3.3万円	4.5万円	5.0万円	9.3万円
利用増加額	-	+1.2万円	+1.7万円	+6.0万円

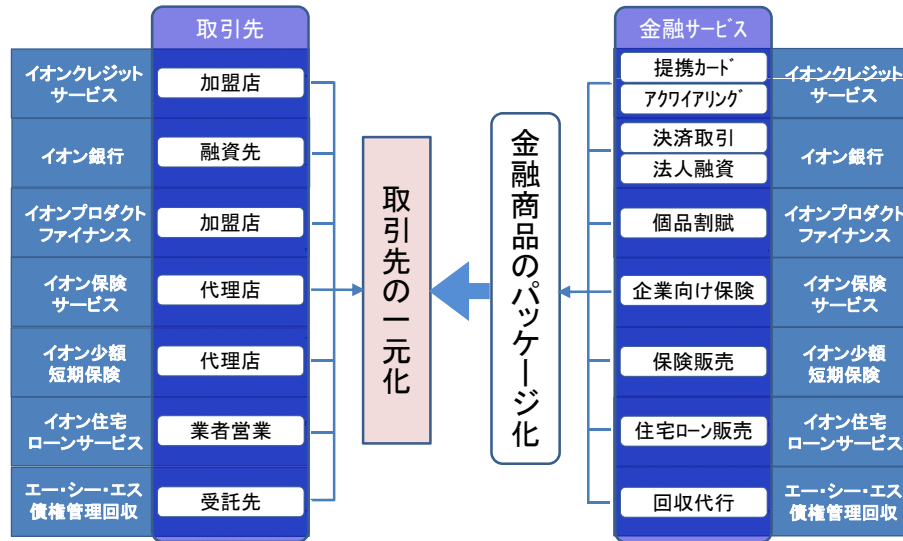
金融サービスのクロスセル展開及び小売りとの連携強化

- 金融サービスのクロスセルにより、1人当たりの収益を最大化
- 金融商品の利用データを分析し、小売への送客を行い、売上拡大に寄与



取引先との関係強化

■ 経営統合によるメリットを活かし、各社の取引先共有化及び金融サービスを一括でご提供



電子マネー事業の強化

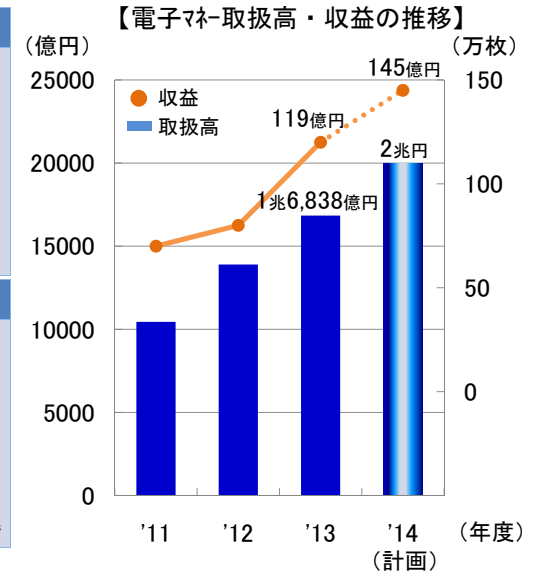
■ 自治体・商店街等の加盟店開発に強みを持つ、フェリカホケットと協力しグループ外取扱高を拡大

重点実施事項

- ・外部加盟店の開発強化
- ・地域マネー分野での地位確立
- ・提携戦略の更なる推進

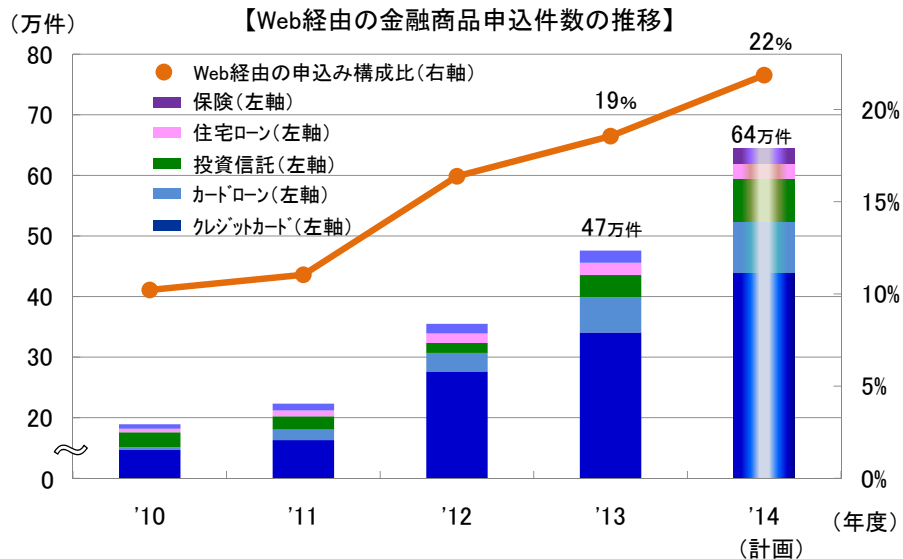
フェリカホケットマーケティングについて

- 事業内容
 - ・ポイントやクーポン機能を提供する「フェリカホケット」を活用し、地域商店街等で加盟店を開拓
- メリット
 - ・イオンクレジットと共同で、クレジットカードと電子マネー両方の加盟店開発を推進



ネット事業の強化

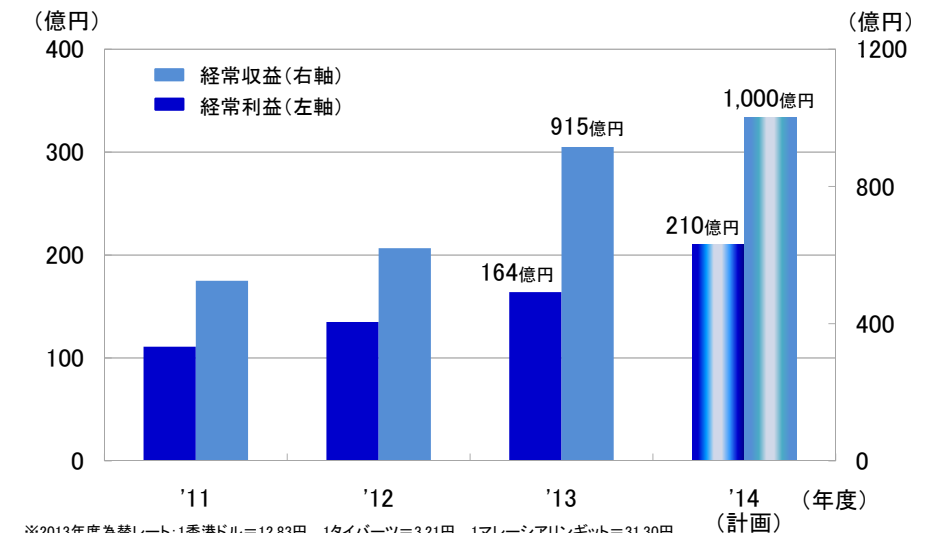
■ Web上の利便性向上により、Web経由の申込件数が順調に増加



海外事業の拡大

■ 2013年度の経常収益は915億円(前期比148%)、経常利益は164億円(前期比122%)

■ 経営管理体制の強化を図り、2014年は経常収益1,000億円(前期比109%)を目指す



※2013年度為替レート:1香港ドル=12.83円、1タイバーツ=3.21円、1マレーシアリンギット=31.30円
 ※2014年度の為替レートは前期と同一レートを想定

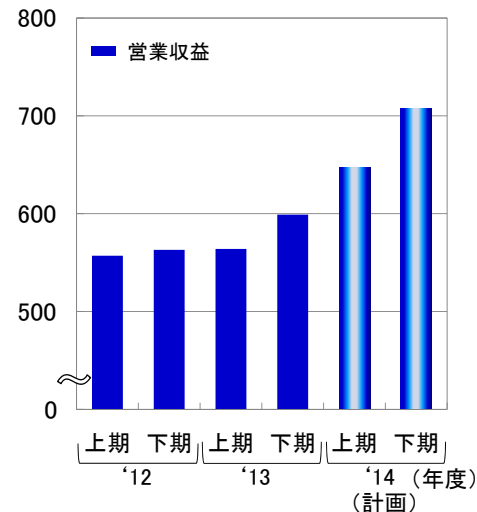
香港を中心とした事業展開

- カードショッピングの好調及びキャッシングリボ払いの推進により、営業収益は増加傾向
- 2014年度は、収益の拡大、貸倒費用の抑制により増益を目指す

【イオンクレジットサービス(アジア)連結業績】 (百万香港ドル)

2013年度業績		
	実績	前期比
会員数	124万人	+8万人
取扱高	1,096億円	111%
営業収益	149億円	104%
経常利益	35億円	77%
当期純利益	28億円	75%

※前期比は現地通貨ベース



タイでの事業展開

- 営業ネットワークを拡充するとともに、新たな事務センターの設立等、債権管理体制を強化
- 2014年度は、交通、小売り分野等での提携を推進し、取扱高・営業収益を拡大

【イオンタナシナップ(タイランド)連結業績】

2013年度業績		
	実績	前年比
会員数	702万人	+32万人
取扱高	3,066億円	123%
営業収益	489億円	125%
経常利益	100億円	133%
当期純利益	80億円	142%

※前期比は現地通貨ベース

2014年度重点実施事項

現地大手企業との提携推進

交通	小売
通信	T&E

マレーシアでの事業展開

- イオンでのお客さま感謝デーを開始する等、特典を強化しカード会員数は順調に拡大
- 2014年度は、イオンビッグマレーシアに加え、イオンマレーシアのポイントカードを受託

【イオンクレジットサービス(マレーシア)業績】

2013年度業績		
	実績	前年比
会員数	134万人	+20万人
取扱高	1,014億円	131%
営業収益	222億円	142%
経常利益	73億円	129%
当期純利益	54億円	131%

※前期比は現地通貨ベース

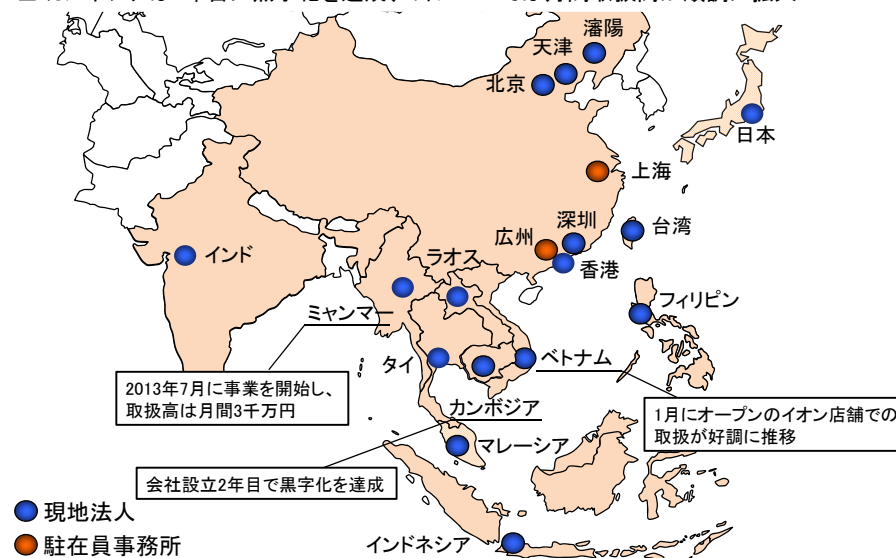
2014年度重点実施事項

クロスセルの強化

- ・ポイント一体型クレジットカードへの切替強化による会員数の拡大
- ・ポイントカード会員への保険商品販売

海外事業の強化

- ベトナムでは、イオン店舗において家電の分割払いサービスを提供開始
- カンボジアは2年目に黒字化を達成、ミャンマーでは月間取扱高が順調に拡大



2014年度 重点実施事項

銀行事業担当 副社長
森山 高光



銀行事業の機能・役割について

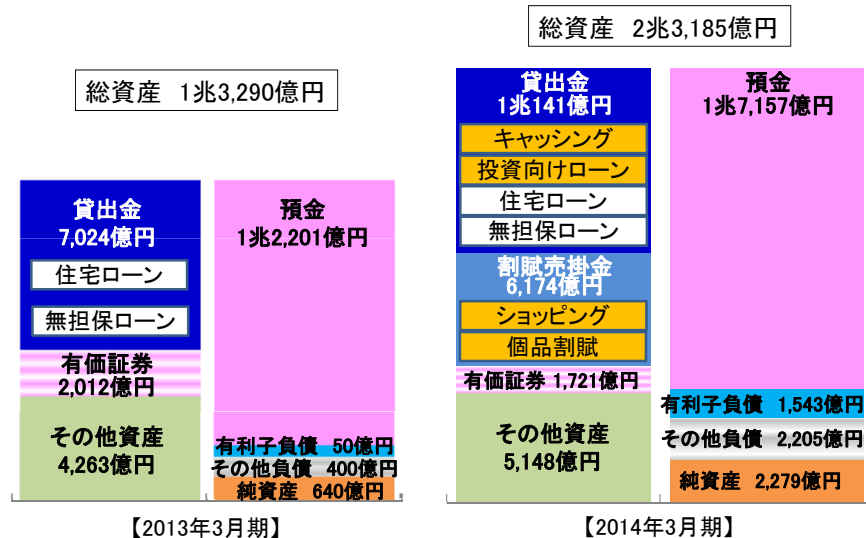
機能	役割
営業基盤の構築	インスタブランチ等を通じたお客さまとの関係構築
低利で安定した資金調達	低利な流動性預金の安定した確保
金融サービスのクロスセル	資産情報や購買情報を活用したマーケティングの実現
資産・負債構造の最適化	調達及び運用の総合的管理機能の発揮

Aeon Financial Service Co.,Ltd.

2013年度 決算説明会 26

イオン銀行の貸借対照表の状況

■ 住宅ローン中心の貸出から、高利回り商品中心の債権内容に移行

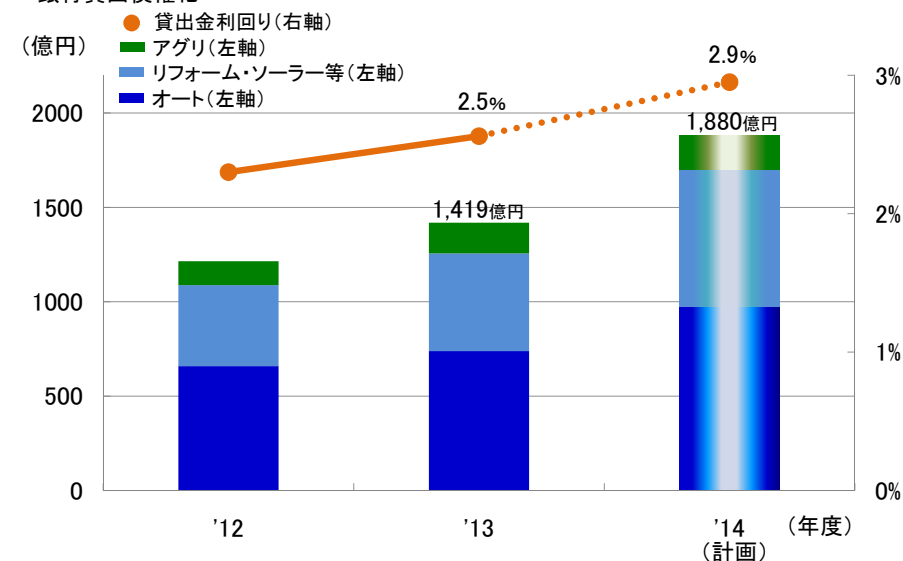


Aeon Financial Service Co.,Ltd.

2013年度 決算説明会 27

AFSグループ各社営業債権の銀行貸出債権化

■ AFSグループ各社との連携により、投資用マンションローンやオートローンなどの債権を銀行貸出債権化

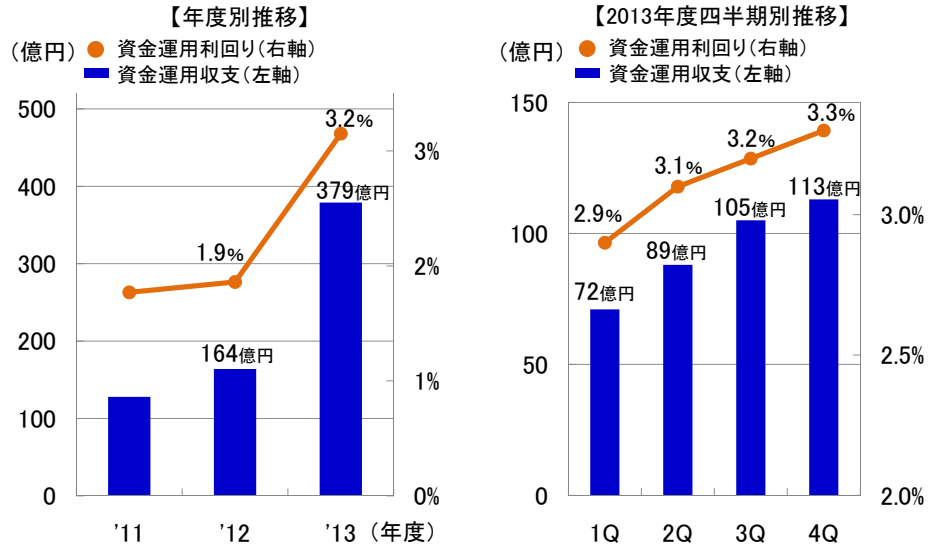


Aeon Financial Service Co.,Ltd.

2013年度 決算説明会 28

イオン銀行の資金運用収支の推移

- 経営統合により、クレジットカード債権の運用、AFSグループ債権を銀行貸出債権化とすることで利回りが改善



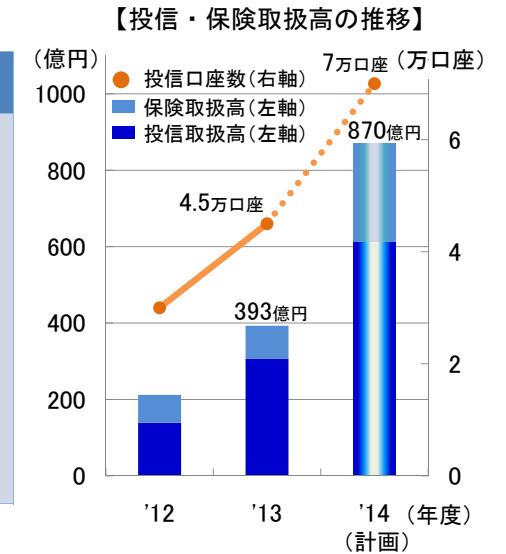
Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 29

手数料収益の強化

- 公的資格保有者を280名から400名体制へ増員
- ネットとリアル両方で潜在顧客を開拓

- 重点実施事項**
- ・全ISBにて投信・保険の窓口対応
 - ・積極的なセミナーの開催
 - ・売れ筋などタイムリーでわかりやすい商品ラインナップ構成
 - ・イオングループファンドに続く独自商品の取扱い



Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 30

イオンフィナンシャルサービス

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確定要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

2013年度連結業績の前期比は、2013年4月1日～2014年3月31日と2012年2月21日～2013年3月31日と比較しております。

(参考) 貸倒引当金残高の推移 (国内クレジットカード事業)

	2012年度	2013年度	2013年度	
期首貸倒引当金残高	314億円	264億円	個人破産	全額償却
貸倒引当金繰入額	75億円	92億円	延滞3カ月以上法的整理債権	214億円
貸倒償却額 (移管債権等含む)	124億円	115億円	一般引当金 ※和解入金中を含む	28億円
期末貸倒引当金残高	264億円	242億円	合計	242億円

貸倒引当率	3.1%	2.1%
実質貸倒コスト	199億円	207億円

- 貸倒引当金残高 (国内子会社)
- イオン銀行: 33億円
- イオンプロダクトファイナンス: 56億円
- イオン住宅ローンサービス: 8億円

Aeon Financial Service Co., Ltd.

2013年度 決算説明会 32

(参考)利息返還損失引当金の状況

	2012年度	2013年度
期首利息返還引当金残高	92億円	37億円
利息返還損失引当金繰入額	—	28億円
利息返還額 (キャッシュアウト額・元本充当額)	55億円	35億円
期末利息返還引当金残高	37億円	30億円